

TSIホールディングス

21年度売上高2千億円目標

「EC」海外「新規事業」など拡大

TSIホールディングス

は14日、中期経営計画

(2017～21年度)を

発表した。今期から反転

攻勢し、収益基盤の継続

強化、成長戦略の加速で

増収増益を目指す。21年

度で売上高2千億円、営

業利益100億円、営業

利益率5%、ROE6・

5%を目標とする。

売上高の内訳は国内の

アパレル関連が1250

億円(16年度1198億

円)、電子商取引(EC)

500億円(255億

円)、化粧品・飲食が50億

円(15億円)。海外はアパ

レルが150億円(75億

円)、化粧品・飲食が50億

円、海外売上高比率は

5%から10%に拡大す

る。

この実現に向けて収益

基盤の強化として①業務

プロセスの改善②マーケ

ティングの進化③販売力

の強化④クリエーション

の強化に取り組み。

業務プロセスでは、基幹

システム「テラ」の導入

を拡大。子会社には来期

前半までに、海外企業に

は来期後半から導入す

る。RFIDはロースパ

ットに今期導入し、その

後全ブランドに投入して

いく。

マーケティングでは、

ビッグデータ解析による

これまで把握しきれな

ったブランドの認知状

況、競合情報、潜在顧客

情報をブランドディレク

ションに反映させる。販

売力強化では「顧客の声

を商品企画や販売に反映

するNPSの取り組みを

グループ全体に展開。ク

リエーションはデザイン

イラストの教育を目的

とした「クリエティブ

.....

過去最高益に

17年2月期

TSIホールディング

スの2017年2月期連

結決算は売上高が159

1億円と前期4・8%の

減収ながら、営業利益は

25億円(2・4倍、経常

利益39億円(52・9%

増)、純利益36億円(2・

6倍)と、利益は各段階

で過去最高となった。

(短信既報)

減収はブランドの廃止

などによる。これを除く

継続ブランドの前年比較

では4%増だった。直接

貿易比率は前期末の11・

8%から12・9%に上昇

した。業務改善などで粗

利は1・6%改善した。

デジタル・越境ECなど

戦略費は約4億円増加し

たが、調達プロジェクト

の推進や倉庫集約などで

・ディレクション」を
年4回実施。トレンド
分析と予測をグループ
内で共有していく。

成長戦略は①EC②
海外③M&A④新規事
業投資。ECは専用商
材の開発のほか、中国
での現地パートナーを

見極め、越境ECを強
化する。海外はブランド
の海外展開を進めるとと
もに、中国の「m. ts
ubomi」の華中以南
への進出を図る。化粧品
も海外で展開する。